

<経済学部 経済学科>(中学校一種免許状(社会))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	経済学科では、市場を基盤とした経済の理論・歴史および政策を教育することで、国内外・地域社会が抱える諸問題に応用可能な解決能力を備えた人材の育成を目指している。この経済学科の教育理念に則り、教職課程履修生は教職に関する科目では、1年次前期に「教師論」「発達・学習過程論」を履修し、教員に求められる資質能力のうち、特に、教員の職務内容や生徒の発達に対する理解を深めることが到達目標である。又、教科に関する科目では、「日本史」「地理学」などの社会科分野の包括的科目を中心に履修し、教科(社会)指導の基礎的な知見を修得する。
	後期	経済学科1年次後期では、前期に引き続き副専攻科目と主専攻科目(基礎科目)などの履修に加えて、自由選択科目として「キャリアデザイン入門」を開設し、学生各自の進路について熟慮する機会を与え、望ましい勤労観・職業観の形成を図っている。教職に関する科目では「教育思想史」が履修でき、教育の理念・歴史及び思想や社会的・制度的又は経営的事項についての見識を深め、「中学社会科教員」としての資質の向上を目指す。
2年次	前期	経済学科2年次前期からは、経済学分野における主たる理論を主専攻科目(基幹科目)として配置し、学生が専門的な学びに円滑に進むことができるように配慮している。教職に関する科目では「教育課程・特別活動論」「社会・地歴科教育法Ⅰ」「社会・公民科教育法Ⅰ」、教科に関する科目として通年科目である「マクロ経済学」「ミクロ経済学」などを履修し、社会科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を身につける。
	後期	経済学科2年次後期から、教職に関する科目では「教育方法論」「社会・地歴科教育法Ⅱ」「社会・公民科教育法Ⅱ」、教科に関する科目として通年科目である「国際経済学」などを履修し、社会科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を深める。
3年次	前期	経済学科3年次前期から、教職に関する科目では「教育原論」「教育相談・進路指導論」、教科に関する科目として「開発経済学」などを履修し、教育の理念・歴史及び思想についての知見を深め、さらに、社会科教員に不可欠な教材解釈力を高める。
	後期	経済学科3年次後期から、教職に関する科目では「教育心理学」「道徳教育の研究」、教科に関する科目として通年科目である「EU経済史」「アメリカ経済論」などとあわせ、副専攻科目を履修し、生徒の心身の発達についての知見を深め、教員の資質として不可欠な対人関係能力や生徒への教育愛を高め、教員としての使命感や責任感を強める。
4年次	前期	経済学科4年次前期から、教職に関する科目では「教育制度・法規論」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」、教科に関する科目の履修を通して、社会科教員の資質として不可欠な専門的知識・技能及び授業づくりの力や授業における表現力を獲得する。
	後期	経済学科4年次後期から、教職に関する科目では「教職実践演習(中・高)」の履修を通して、教員として必要な資質(使命感・社会性・生徒理解・指導力)や社会科教員として最小限必要な専門的知識・技能が確実に身についたことを確認する。

<経済学部 経済学科> (高等学校一種免許状(地理歴史))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	経済学科では、市場を基盤とした経済の理論・歴史および政策を教育することで、国内外・地域社会が抱える諸問題に応用可能な解決能力を備えた人材の育成を目指している。この経済学科の教育理念に則り、教職課程履修生は教職に関する科目では、1年次前期に「教師論」「発達・学習過程論」を履修し、教員に求められる資質能力のうち、特に、教員の職務内容や生徒の発達に対する理解を深めることを到達目標としている。又、教科に関する科目では、「日本史」「地理学」などの包括的科目を中心に履修し、教科(地理歴史)指導の基礎的な知見を修得する。
	後期	経済学科1年次後期では、前期に引き続き副専攻科目と主専攻科目(基礎科目)などの履修に加えて、自由選択科目として「キャリアデザイン入門」を開設し、学生各自の進路について熟慮する機会を与え、望ましい勤労観・職業観の形成を図っている。教職に関する科目では「教育思想史」「教育社会学」を履修して、教育の理念・歴史及び思想や社会的・制度的又は経営的事項についての見識を深め、「高校地理歴史科教員」としての資質の向上を目指す。
2年次	前期	経済学科2年次前期から、経済学分野における主たる理論を主専攻科目(基幹科目)として配置し、学生が専門的な学びに円滑に進むことができるように配慮している。教職に関する科目では「教育課程・特別活動論」「社会・地歴科教育法Ⅰ」、教科に関する科目として通年科目である「日本経済史」「西洋経済史」などを履修し、地理歴史科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を身につける。
	後期	経済学科2年次後期から、教職に関する科目では「教育方法論」「社会・地歴科教育法Ⅱ」、教科に関する科目として通年科目である「社会思想史」などを履修し、地理歴史科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を深める。
3年次	前期	経済学科3年次前期から、教職に関する科目では「教育原論」「教育相談・進路指導論」、教科に関する科目として通年科目である「地誌学」などを履修し、教育の理念・歴史及び思想についての知見を深め、さらに、地理歴史科教員に不可欠な教材解釈力を高める。
	後期	経済学科3年次後期から、教職に関する科目では「教育心理学」「道徳教育の研究」、教科に関する科目として「経済地理」などとあわせ、副専攻科目を履修し、生徒の心身の発達についての知見を深め、教員の資質として不可欠な対人関係能力や生徒への教育愛を高め、教員としての使命感や責任感を強める。
4年次	前期	経済学科4年次前期から、教職に関する科目では「教育制度・法規論」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」、教科に関する科目の履修を通して、地理歴史科教員の資質として必要な専門的知識・技能及び授業づくりの力や授業における表現力を獲得する。
	後期	経済学科4年次後期から、教職に関する科目では「教職実践演習(中・高)(中・高)」の履修を通して、教員として必要な資質(使命感・社会性・生徒理解・指導力)や地理歴史科教員として最小限必要な専門的な知識・技能が確実に身についたことを確認する。

<経済学部 経済学科>(高等学校一種免許状(公民))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	経済学科では、市場を基盤とした経済の理論・歴史および政策を教育することで、国内外・地域社会が抱える諸問題に応用可能な解決能力を備えた人材の育成を目指している。この経済学科の教育理念に則り、教職課程履修生は教職に関する科目では、1年次前期に「教師論」「発達・学習過程論」を履修し、教員に求められる資質能力のうち、特に、教員の職務内容や生徒の発達に対する理解を深めることを到達目標としている。又、教科に関する科目では、「政治学」「哲学」などの包括的科目を中心に履修し、教科(公民)指導の基礎的な知見を修得する。
	後期	経済学科1年次後期では、前期に引き続き副専攻科目と主専攻科目(基礎科目)などの履修に加えて、自由選択科目として「キャリアデザイン入門」を開設し、学生各自の進路について熟慮する機会を与え、望ましい勤労観・職業観の形成を図っている。教職に関する科目では「教育思想史」「教育社会学」を履修して、教育の理念・歴史及び思想や社会的・制度的又は経営的事項についての見識を深め、「高校公民科教員」としての資質の向上を目指す。
2年次	前期	経済学科2年次前期から、経済学分野における主たる理論を主専攻科目(基幹科目)として配置し、学生が専門的な学びに円滑に進むことができるように配慮している。教職に関する科目では「教育課程・特別活動論」「社会・公民科教育法Ⅰ」、教科に関する科目として通年科目である「経済政策」「経済変動論」などを履修し、公民科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を身につける。
	後期	経済学科2年次後期から、教職に関する科目では「教育方法論」「社会・公民科教育法Ⅱ」、教科に関する科目として通年科目である「財政学Ⅰ」「財政学Ⅱ」「地域経済学Ⅰ」「地域経済学Ⅱ」などを履修し、公民科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を深める。
3年次	前期	経済学科3年次前期から、教職に関する科目では「教育原論」「教育相談・進路指導論」、教科に関する科目として「都市経済学」や、通年科目である「国際金融」などを履修し、教育の理念・歴史及び思想についての知見を深め、さらに、公民科教員に不可欠な教材解釈力を高める。
	後期	経済学科3年次後期から、教職に関する科目では「教育心理学」「道徳教育の研究」、教科に関する科目として「文化経済学」や、通年科目である「中国経済論」などとあわせ、副専攻科目を履修し、生徒の心身の発達についての知見を深め、教員の資質として不可欠な対人関係能力や生徒への教育愛を高め、教員としての使命感や責任感を強める。
4年次	前期	経済学科4年次前期から、教職に関する科目では「教育制度・法規論」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」、教科に関する科目の履修を通して、公民科教員の資質として必要な専門的知識・技能及び授業づくりの力や授業における表現力を獲得する。
	後期	経済学科4年次後期から、教職に関する科目では「教職実践演習(中・高)」の履修を通して、教員として必要な資質(使命感・社会性・生徒理解・指導力)や公民科教員として最小限必要な専門的知識・技能が確実に身についたことを確認する。

<経済学部 経済学科> (高等学校一種免許状(商業))

各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	経済学科では、市場を基盤とした経済の理論・歴史および政策を教育することで、国内外・地域社会が抱える諸問題に応用可能な解決能力を備えた人材の育成を目指している。この経済学科の教育理念に則り、教職課程履修生は教職に関する科目では、1年次前期に「教師論」「発達・学習過程論」を履修し、教員に求められる資質能力のうち、特に、教員の職務内容や生徒の発達に対する理解を深めることを到達目標としている。又、教科に関する科目では、「現代経済Ⅰ」「商学概論Ⅰ」などの包括的科目を中心に履修し、教科(商業)指導の基礎的な知見を修得する。
	後期	経済学科1年次後期では、前期に引き続き副専攻科目と主専攻科目(基礎科目)などの履修に加えて、自由選択科目として「キャリアデザイン入門」を開設し、学生各自の進路について熟慮する機会を与え、望ましい勤労観・職業観の形成を図っている。教職に関する科目では「教育思想史」「教育社会学」を履修して、教育の理念・歴史及び思想や社会的・制度的又は経営的事項についての見識を深め、「高校商業科教員」としての資質の向上を目指す。
2年次	前期	経済学科2年次前期から、経済学分野における主たる理論を主専攻科目(基幹科目)として配置し、学生が専門的な学びに円滑に進むことができるように配慮している。教職に関する科目では「教育課程・特別活動論」「商業科教育法Ⅰ」、教科に関する科目として通年科目である「金融論Ⅰ」「金融論Ⅱ」「貿易論」などを履修し、商業科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を身につける。
	後期	経済学科2年次後期から、教職に関する科目では「教育方法論」「商業科教育法Ⅱ」、教科に関する科目として通年科目である「産業組織論」「交通経済学」などを履修し、商業科教員として必要な教科指導の方法・授業づくりの力量を深める。
3年次	前期	経済学科3年次前期から、教職に関する科目では「教育原論」「教育相談・進路指導論」、教科に関する科目として「サービス経済学」などを履修し、教育の理念・歴史及び思想についての知見を深め、さらに、商業科教員に不可欠な教材解釈力を高める。
	後期	経済学科3年次後期から、教職に関する科目では「教育心理学」「道徳教育の研究」、教科に関する科目として通年科目である「職業指導」などとあわせ、副専攻科目を履修し、生徒の心身の発達についての知見を深め、教員の資質として不可欠な対人関係能力や生徒への教育愛を高め、教員としての使命感や責任感を強める。
4年次	前期	経済学科4年次前期から、教職に関する科目では「教育制度・法規論」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」、教科に関する科目の履修を通して、商業科教員の資質として必要な専門的知識・技能及び授業づくりの力や授業における表現力を獲得する。
	後期	経済学科4年次後期から、教職に関する科目では「教職実践演習(中・高)」の履修を通して、教員として必要な資質(使命感・社会性・生徒理解・指導力)や商業科教員として最小限必要な専門的知識・技能が確実に身についたことを確認する。